



めたせこいあ

受験を通しての自己成長

校長 勝部 千良

能登半島地震により多くの方が被災され、今なお厳しい生活をおられます。1日も早い復興をお祈りいたします。この地震により多くの受験生も被災し、1月13日(土)から実施された大学入学共通テストに向けて避難所や高校で頑張る高校生の様子が報道されました。本当に大変な状況でありながら、自分の夢をあきらめず努力を続けるその姿に感動しました。この受験生たちを自らも被災しながらも支えている人たちがいました。この生徒たちは逆境に耐える力をつけ、周囲の方々の温かみなどを再認識するといった経験をしたと思います。そして、この生徒たちが今後の被災地の復興に向けて大きな力となることでしょう。

このような話を1月12日(金)に令和6年度大学入学共通テストの受験のため山口へ出発する3年生に伝えました。あわせて、受験を通して多くのことに気づき、学んだのだという事実を話しました。親や周囲への感謝もその一つだと思います。

私は受験というものは人生において貴重な経験であり、合否はもちろん重要ではありますが、仮に結果が望むものでなくとも長い目で見ればその悔しさの経験は自分を成長させることにつながるのだと考えています。そのことはすぐにはわからなくてもある程度年齢を重ねると当時を思い出し、感じることもあります。もちろん全員が志望校に合格してほしいのですが、その一方で、受験を振り返り、精いっぱい頑張った自分を感じてほしいです。



文芸部 俳句全国入選を吉賀町長に報告しました

文芸部3年生の河内慧さんの俳句「骨壺を 暗所に移す 夏の昼」が「全国高校文芸コンクール」俳句部門で入選、北川颯良さんの俳句「いつのまに 取り違えたか 梅雨の傘」が「伊藤園おーいお茶新俳句大賞」の佳作に選ばれました。昨年末に岩本町長に受賞の報告をし、激励して頂きました。



河内慧さんコメント
「吉賀町で暮らし、多くの人たちと触れ合えたからこそ生まれた句。吉賀町に住んでいる時に受賞できて嬉しいです。」

北川颯良さんコメント
「四季の移ろいを感じながら吉賀町で3年間を過ごすことができました。受賞は誇らしいです。」



3年生 大学入学共通テストを受験しました

1月12日(金)大学入学共通テスト出発前に激励会を行いました。校長先生をはじめ多くの教職員やよしか塾NEXT講師から受験生に向けて激励やアドバイスを送った後、受験生代表で松谷春輝さんが「これまで培ってきたことを出せるようベストコンディションで頑張りたい。」と決意を述べました。

当日は会場の山口県立大学にて、無事に受験をすることができました。今後もそれぞれの進路に向かって邁進して行って欲しいと思います。



中村美楠子教諭「令和5年度 文部科学大臣優秀教職員表彰」受賞

中村美楠子教諭は前任校の大東高校勤務時よりキャリア教育担当としてキャリア・パスポートの導入などに取り組んできました。令和元年度より吉賀高校に勤務しており、中高一貫キャリア教育「サクラマス・プロジェクト」と連動させたアントレプレナーシップ教育を展開し、首都圏の大学との高大協働研究を深化させ、課題解決型探究学習を推進してきました。県内外の研修講師としても活躍し、その業績は高く評価されています。吉賀高校にとっても大変名誉なことであり、この受賞をともに喜びたいと思います。

【中村美楠子教諭コメント】

このたびは、文部科学大臣優秀教職員表彰という光栄を賜り、ありがとうございます。この受賞は、生徒、保護者、地域の皆様、同僚の先生方の支えがあってのものであります。支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。これからも子どもたちと真摯に向き合い、地域社会の未来のために、ともに壁を乗り越えていくべく精進してまいります。

写真(令和6年1月16日(火) 東京大学・安田講堂での表彰式に出席)



令和5年度「アントレ成果発表会」を行いました

2月9日(金)アントレ成果発表会を開催し、1・2年生がこれまでのアントレでの経験や学びを発表しました。午前中は本校にて、作成したスライドをもとに全員が10分程度で発表し、聞き手からの質疑応答を受けました。午後からは六日市体育館に移動して、午前中の各ブースの代表者8名が、保護者や、地域の方々、3年生や六日市中学校の生徒の皆さんにオンラインと会場で見守られるなかで堂々と語り、講師としてお越しいただいた大学の先生方から、発表者1人1人に講評をいただきました。

代表者になった生徒もそうでない生徒も、自分の成果や学びを自分の言葉で語る事ができた成果発表会でした。また、聞き手となった生徒もよく聞き、活発に質問をしている様子がみられました。今回の発表で深めた学びや気づいたことを、今後のアントレや学校生活に活かして欲しいと思います。

最後になりましたが、本校生徒の活動にご支援ご協力を賜りました地域の皆様に厚く御礼申し上げます。



8名の発表代表者とプロジェクト名

新藤 麻央 (2年)	『子ども』	秋田 歩太 (2年)	『地方と都市の教育』
手島弘太郎 (2年)	『カメムシ対策』	藤田 禮嘉 (1年)	『地域づくり@蔵木』
水村 莉子 (2年)	『商品開発』	齋藤 琉晟 (1年)	『多文化共生』
潮 拓実 (1年)	『地域づくり@柿木』	貝賀 杏奈 (2年)	『ゆず商品化計画』